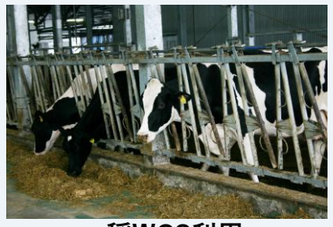
“耕畜連携”で安全・安心な国産粗飼料の生産を

稲WCS生産利用の取組み事例　～耕畜連携～

栽培管理

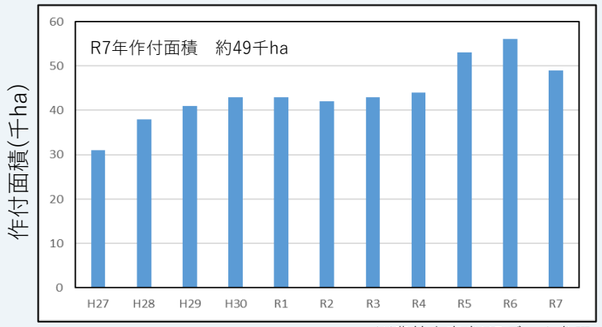
収穫・調製



稲WCS利用

稲作農家		畜産・酪農家
稲作農家	畜産・酪農家	
稲作農家	コントラクタ・公社等	畜産・酪農家
畜産・酪農家		

WCS(稲発酵粗飼料)作付状況



※農林水産省HPデータ参照

飼料用イネは転作作物として水田を有効に活用でき、粗飼料としての品質が高いことも評価を得ていることから、全国的に栽培面積が拡大している。

■主要諸元

品名		細断型ホールクロップ収穫機
型式		WB1040YH
キャビン・バックモニタ		標準装備
全長×全幅×全高	(mm)	5,350×2,200×2,540
機体質量	(kg)	4,320
クローラ幅×接地長	(mm)	550×1,750
平均接地圧	(kPa{kg/cm²})	22.5{0.23}
エンジン出力／回転速度	(kW{PS})	51.9{70.6}
燃料タンク容量	(L)	90
刈幅	(cm)	172{5条}
適応稈長 ※3	(cm)	65～150
カッター幅	(mm)	1,100
理論切断長	(cm)	3
混合方式		ダブルディスク
梱包資材		ネット(幅123または103cm)

変速方式			油圧サーボ付 HST 無段変速
走行速度 (m/s)	あぜ越え		0～0.98
	作業時 ※1		0～1.60
	移動時		0～3.07
ロールベール	大きさ	(cm)	φ100×85 ※2
	質量	(kg)	約300(含水率約60%時)
	乾物密度	(kg/m³)	150以上

※1　収量・条件によっては車速を落とすか、刈取り条数を少なくして作業する必要があります。

※2　ベール直径は収穫物等の条件によってφ100より大きくなる事があります。

※3　地面から穂首までの長さを表しています。

※主要諸元・写真は、改良のため予告なく変更することがあります。

安全作業
農業機械は取扱説明書をよく読み正しい操作を心がけましょう。
農業機械の使用前後には点検・整備を心がけましょう。

二次元コードからも
タカキタのホームページに
アクセスできます。

製品のご相談は・・・

株式会社 タカキタ
本社工場／〒518-0441　三重県名張市夏見2828番地 TEL.0595(63)3111(代) FAX.0595(64)0857
札幌工場／〒007-0882　札幌市東区北丘珠2条3丁目1番20号 TEL.011(781)1111(代) FAX.011(781)1113
営業所／札幌・豊富・北見・中標津・帯広・東北・南東北・関東・関西・中国・九州・南九州
URL:https://www.takakita-net.co.jp

2026/03

Takakita

WHOLE CROP HARVESTER
細断型ホールクロップ収穫機

WB1040YH

稈長150cmの長稈品種まで対応！

排ガス規制対応エンジン搭載

細断型ホールクロップ収穫機の開発にあたっては、(独)農研機構中央農業総合研究センターとの共同研究成果である「特許名自走細断型ホールクロップ収穫機、特許番号：4672642号((独)農研機構との共同出願)」が利用されています。また、緊プロ事業に基づき生物系特定産業技術研究支援センターと共同開発された細断型ロールベーラのロール成形室を搭載しています。

稲発酵粗飼料　WCS（ホールクロップサイレージ）とは

ホールクロップサイレージとは、実をつける飼料作物を茎葉ごと収穫し、乳酸発酵させた粗飼料のこと。
飼料用イネの場合は糊熟期～黄熟期が収穫適期の目安となります。

■飼料用イネ専用品種の特徴

①モミと茎葉を合わせた収量が多い
②倒伏に強い
③モミの脱粒がしにくい
④耐肥性に優れている

■理論切断長はなぜ「３cm」

３cmに切断することで高密度に梱包し、乳酸発酵を促進。
餌として牛の咀しゃく時間と消化のバランスが良いサイレージを作ることができます。

■稲ホールクロップ収穫システム

①ダイレクトに刈取り

②細断・混合しネットで梱包

③フィルムでラッピング

④１ヶ月以上かけて乳酸発酵

■良質な稲WCSを作るために

①含水率は65％以下が条件（糊熟期～黄熟期が目安）
　※高水分では十分な乳酸発酵ができず、サイレージ品質が低下する。逆に低すぎても発酵不良となるので注意。

②湿田や条件の悪い圃場では高刈りが必要
　※泥等から雑菌が混入すると酪酸菌が発生しやすく、サイレージ品質が低下する。

③乳酸菌を添加する
　※水分が多いとき、長期保存するときは特に必要。

④梱包後のラッピング作業は速やかに

⑤保管時は必ず縦置き（２段、３段積み）

⑥フィルムに穴が開いたときは直ちに補修用テープ等で補修

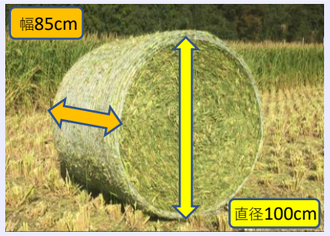
自走ラップマシーン　SW1121D

製品の特徴

■稈長「65cmの短稈」から「150cmの長稈」まで対応

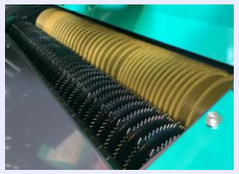
①長稈品種対応
飼料用イネの特徴である長稈品種も、稈長150cmまで対応可能

②短稈対応
短稈(稈長65cm以上)でも刈取部から搬送部への受け渡しがスムーズ

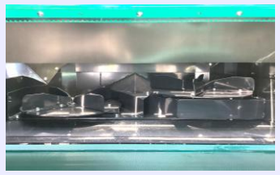


③ベール質量
約300～320kg ※
※含水率約60％の場合

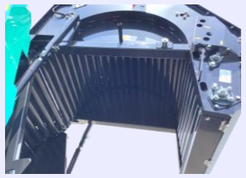
■細断・混合でムラ無く高密度梱包



①ディスクカッタ
理論切断長３cmに作物をカット



②ダブルディスク
穂先と株元を混合



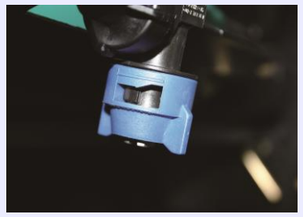
③チェンバー方式
高密度に圧縮

④ネット装置
ロスを少なく速やかに結束

■湿田での作業に強い

①旋回モード切替
「湿田モード」位置にセットすると旋回時に自動減速を切り、ゆるやかな旋回が可能
②自動水平制御（UFO）
機体の左右を水平に保つ
③ワイドクローラ
幅550mm×接地長1,750mmにより接地圧が低く、スムーズに走行・作業が可能

■添加装置を標準装備



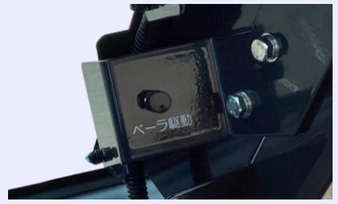
乳酸発酵を促進する乳酸菌を添加することにより、より良質なサイレージに仕上がります。

乳酸菌を自動的に噴霧する添加装置を標準装備しています。

■コントロールBOX

ネットの巻数設定が簡単に行える他、電子カウンターやエラーメッセージが表示され、運転席で容易に操作・確認できます。

■ベーラ駆動スイッチ



ベール放出時にベールがリヤケースから落ちない場合、チャンバを開けたままベーラ駆動スイッチで成形室を駆動させてベールを落ちやすくします。
※スイッチはキャビン内の前方右側に設置

■バックモニタ

機体後部に２台の小型カメラを装備。ハンドル中央の液晶モニタでベールの排出状態等が確認できます。
※モニタ画面はイメージ図